

平成 30 年 2 月 1 3 日
環境省自然環境局自然環境整備課
温泉地保護利用推進室

第 3 回全国温泉地サミットについて

平素から温泉行政に御尽力いただき、誠にありがとうございます。第 1 回及び第 2 回全国温泉地サミットでは、主に先進的な事例を中心に各自治体の取組等や今後の温泉地のあり方について活発な議論をいただきました。

第 3 回全国温泉地サミットでは、平成 29 年 7 月の自然等の地域資源を活かした温泉地の活性化に関する有識者会議による「自然等の地域資源を活かした温泉地の活性化に向けた提言～「新・湯治 -ONSEN stay」の推進～」を踏まえ、多様な方々に議論をいただき、今後の温泉地の活性化に向けた契機とさせていただければと考えております。

御多忙のところ恐縮ですが、御出席をよろしく申し上げます。

記

1. 開催日時 平成 30 年 5 月 25 日（金）14：00～16：30（予定）
※合同レセプションは 18：00～となります。

2. 開催場所

- ①全国温泉地サミット：別府国際コンベンションセンター・ビーコンプラザ
（大分県別府市山の手町 1 2 - 1）
- ②合同レセプション：杉乃井ホテル ボールルームアンバー（予定）
（大分県別府市観海寺 1）

※同日 12：00～別府市から別府国際コンベンションセンターまでシャトルバスを運行します。また、会議終了後は別府駅又は合同レセプション会場へのシャトルバスを運行します。

3. 議事（予定）

第 1 部：「新・湯治」策定の経緯とこれまでの進捗

第 2 部：官民連携による「温泉地の活性化」について

※「新・湯治」の詳細は別添資料及び <http://www.env.go.jp/press/104349.html> を参照ください。

以上

International ONSEN Summit - OITA JAPAN

おんせん県おおいた 世界温泉地サミット

期 間：2018年5月25日(金)・26日(土)・27日(日)

会 場：別府国際コンベンションセンター
ビーコンプラザ

テーマ：「世界の温泉地が拓く地域発展の可能性」
～温泉がつなぐ地域資源の多様な活用方法～

🔥 基調講演 5月26日

「サステイナブル・ツーリズムと世界の
温泉地の更なる発展可能性」

ヨランダ・ペルドモ 氏 (スペイン) 国連世界観光機関 (UNWTO) アフィリエイトメンバー部門長

🔥 事例発表 5月26日

1.〈観光〉

「フランスにおける温泉資源を活用した観光客誘致」

ジェローム・フリポ 氏 (フランス) カンパーニュ・ドゥ・ヴィシー社長

2.〈医療・健康・美容〉

「イタリアにおける温泉療養の現状と健康と美を追求した
温泉保養への新たな展開」

マッシモ・サビオン 氏 (イタリア) ホテルプレジデントテルメ社長 ユーガニー温泉協会会長

3.〈エネルギー〉

「アイスランドにおける地熱発電と熱排水を利用した
ブルーラグーンによる観光客誘致」

グリマー・サエムンゼン 氏 (アイスランド) ブルーラグーン・アイスランド社長



基調講演者

ヨランダ・ペルドモ氏
Yolanda Perdomo
(スペイン)

パリアメリカ大学国際経済学部卒業。官民セクターでの経験があり、元スペインカナリア諸島観光局の副代表。UNWTOの民間メンバー(世界約600団体)を束ね、様々なツーリズムの推奨、連携、地域展開を行っている。

おんせん県おおいた
世界温泉地サミットHP

<http://www.pref.oita.jp/site/onsen-summit/>



スケジュール (予定)

5/25 (金)

14:00-16:30 第3回 全国温泉地サミット (環境省主催)
 18:00-20:00 合同レセプション (世界温泉地サミット・全国温泉地サミット) 会場: 杉乃井ホテル (住所: 別府市観海寺1)

5/26 (土)

9:00-12:00 開会
 主催者挨拶 世界温泉地サミット実行委員会会長 大分県知事 広瀬 勝貞
 I 基調講演
 II 事例発表 (1) 観光 (2) 医療・健康・美容 (3) エネルギー

12:00-13:00 昼食休憩 (立食サロン開設)

13:00-16:00 III 分科会
 〈分科会①観光〉 テーマ「ONSENツーリズムの新たな可能性」
 コーディネーター: 久保田 美穂子 氏
 パネリスト: 田村 明比古 氏 (予定) 国土交通省 観光庁長官
 桑野 和泉 氏 (一社) 由布院温泉観光協会会長
 涌井 史郎 氏 東京都大学環境学部環境創生学科 特別教授
 ヨランダ・ベルドモ 氏 【スペイン】 国連世界観光機関 (UNWTO) アフィリエイトメンバー部門長
 デヴィッド・ジェームス氏 【イギリス】 バース市観光局長
 ジェローム・フリボ 氏 【フランス】 カンパーニュ・ドゥ・ヴィシー社長
 〈分科会②医療・健康・美容〉 テーマ「健康寿命延伸と美力を高める温泉力の展望」～21世紀の新たな保養温泉地の在り方～
 コーディネーター: 合田 純人 氏
 パネリスト: 斉藤 雅樹 氏 東海大学海洋学部教授
 早坂 信哉 氏 東京都大学人間科学部教授
 マークス・マッツ 氏 【ドイツ】 クア&スパ・バートクロツingen ヴィタ・クラシカ館長補佐
 マッシモ・サビオン 氏 【イタリア】 ホテルプレジデントテルメ社長 ユーガニー温泉協会会長
 ミゲル・ミロネス・ディエス 氏 【スペイン】 スペイン温泉協会会長
 ジュアンド・ヤスコ 氏 【フランス】 SPALOHAS倶楽部代表 (SPAツーリズムジャーナリスト)
 〈分科会③エネルギー〉 テーマ「温泉の持続可能なエネルギーとしての利活用」
 コーディネーター: 安川 香澄 氏
 パネリスト: 福田 孝一 氏 九州電力 (株) エネルギーサービス事業統括本部 火力発電本部 地熱部長
 山田 茂登 氏 富士電機 (株) 発電事業本部発電プラント事業部火力・地熱プラント総合技術担当部長
 グレグ・ピグナル 氏 【ニュージーランド】 GNSサイエンス 地質資源局 地熱科学部長
 グリマー・サエムンゼン 氏 【アイスランド】 ブルーラグーン・アイスランド社長

17:00-18:00 分科会総括・サミット宣言
 閉会

久保田 美穂子 氏

亜細亜大学経営学部ホスピタリティ・マネジメント学科 准教授



東京外国語大学外国語学部ドイツ語学科卒業後、(株)日本交通公社入社。1989年より調査部に移籍、2002年主任研究員、2013年主任研究員/観光研究情報室長/旅の図書館長、2015年主席研究員/観光研究情報室長/旅の図書館長、2016年主席研究員/観光文化情報センター長/旅の図書館長を歴任する。2017年公益財団法人日本交通公社退社後、4月より亜細亜大学経営学部ホスピタリティ・マネジメント学科准教授。

合田 純人 氏

NPO法人「健康と温泉フォーラム」常任理事



1986年設立の健康と温泉フォーラム創立メンバーで、世界保健機関(WHO)と公式関係を持つ国際温泉気候連合のアジア・太平洋協議会(FAPAC)初代事務局長を兼務。永年、欧州温泉国との研究交流を継続しながら、域内のペルーやイラン政府などの温泉開発やその社会化に関わり、温泉のグローバル化を積極的に進めている。国内では、温泉地の広域連携や温泉研究の産官学のプラットフォームづくり、温泉療養の医療費控除などの政策提言、特に最近では、温泉人材の育成などに力を注いでいる。専門は健康社会学。

安川 香澄 氏

産業技術総合研究所 再生可能エネルギー研究センター 副研究センター長



地質調査所(現 産業技術総合研究所)入所後、地熱貯留層および地中熱システムに関する数値シミュレーション研究を実施。過去に、NEDO及び経済産業省への出向経験があり、海洋汚染防止に関するロンドン条約、気候変動に関する政府間パネルの各種会合に日本政府から派遣。国際地熱協会の理事を2期(2007年～2013年)務め、現在は国際エネルギー機関 地熱実施協定執行委員会メンバーとして地熱利用技術の普及に努めているほか、日本地熱学会の評議員も務めている。

5/27 (日)

(詳細はHP参照)

9:30-13:30 エクスカーション
 ①観光コース
 コース例: 別府駅 → 「駅外国人観光案内所」 → 「海地獄」 → 「鉄輪散策」 → 「富士屋Gallery」 → 昼食 → 別府駅帰着

8:15-13:30 ②医療・健康・美容コース
 コース例: 別府駅 → 「別府海浜砂湯/北浜温泉(テルマス)」 → 「明礬湯の里」 → 「鉄輪柳屋」 → 昼食 → 別府駅帰着

9:30-13:30 ③エネルギーコース
 コース例: 別府駅 → 「県農業研究部花きグループ」 → 「もと湯の宿黒田や」 → 昼食 → 別府駅帰着

9:00-16:30 ④ONSEN・ガストロノミーウォーキングコース
 コース例: 別府駅 → 「中津市 (ONSEN・ガストロノミーウォーキングinやばけい遊覧)」 → 中津駅 → 別府駅帰着

関連イベント

世界温泉地観光物産展

2018年 5月26日(土)～27日(日) ビーコンプラザ コンベンションホール
 サミット各参加国・自治体の紹介ブース、日本各地の物産販売、飲食ブース、ステージイベントなどを開催します。
 イベント事務局: 097-529-6730

ONSEN・ガストロノミーウォーキング

2018年 5月26日(土)別府市、27日(日) 中津市 HP: <https://onsen-gastronomy.com/>
 温泉地を歩きながら、その土地特有の豊かな自然・歴史・文化をめぐり、その土地ならではの美味しい食べ物・美味しいお酒を「食べて(飲んで)」そして温泉に「つかって」温泉地の魅力を「体感」するウォーキングイベント。